

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年7月20日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして補足説明をさせていただきます。

1ページ目には新しい情報は特にございません。

2ページ目、7月26日木曜日、（6）第606回の審査会合が開催される予定でございます。審査対象の議題は、現時点では2件予定されております。

まず、1件目といたしまして、日本原電・東海第二発電所の工事計画認可についての審査が行われる予定でございます。こちらの内容は、論点についての議論が続けられているところですが、この7月26日は論点についてのコメント回答が行われる予定でございます。

次に、2件目といたしまして、東北電力・女川発電所2号炉についての設置変更許可申請の審査が予定されております。こちらの内容は、重大事故対策の有効性評価、具体的には格納容器の破損防止対策についての評価について、説明をお聞きして審査が行われるという予定でございます。

次に、その下、7月27日金曜日、（8）第22回の東海再処理施設等安全監視チームの開催が予定されております。議題は、記載のとおり2件の予定でございます。

まず、廃止措置計画についてということで、熔融炉の更新のスケジュールなどについての説明をお聞きするということが予定されております。

次に、議題の2番目といたしまして、ガラス固化の進捗状況についての説明をお聞きするという予定でございます。

次に、その下、（9）第7回規制に係る人的組織的要因に関する検討チームが予定されております。こちらの検討チームでは、安全文化及び原因分析の2点についてのガイドについて議論・検討が行われてきておりますが、今回は原因分析に係るガイドについて、その視点に関して案をお示しして、議論が行われるという予定でございます。

私からの御説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。御質問のほうはよろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—